

第 77 号 長野地区会ニュース

平成 27 年 5 月 20 日
発行 国臨協長野地区会
発行責任者 山崎 剛
編集責任者 長澤 大輔

今年度も人事異動がありました。移動があった方に寄稿していただきましたので、ここに紹介いたします。

まつもと医療センターに赴任して

まつもと医療センター 北沢 敏男

4 月 1 日付で、千葉医療センターから臨床検査技師長として赴任いたしました北沢敏男です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで、副臨床検査技師長として務めてまいりましたが、臨床検査技師長という立場となり、身が引き締まる思いであります。暗中模索が続いておりますが、精一杯努めていきたいと考えております。

当院は一組織二病院という特殊な事情を抱えておりますが、この 3 月に統合先となる建物の契約が成立し、平成 30 年度の統合に向け大きく前進しました。また、松本病院では本年度内に電子カルテ化、中信松本病院では一部オーダリング化（検査オーダはありません）が決定し、忙しい日々となりそうです。

さて、私の経歴を書かせて頂きます。長野地区会には 4 度目の入会となります。非常勤職員として、国立松本病院からスタートし、国立病院医療センター、国立長野病院、NHQ 松本病院、国立国際医療センター、信州上田医療センター、千葉医療センターを経てまつもと医療センターという道順を辿ってきました。病院名称はそれぞれ異なっていますが、これまで赴任した場所は 4 ヶ所。松本、新宿、上田、千葉。

長野地区会の皆様と共に成長していきたいと存じます。重ねてよろしくお願いいたします。

信州上田医療センターに赴任して

信州上田医療センター 原田 崇浩

うららかな春から初夏の気配も感じるこの頃、長野地区の皆様におかれましては、御活躍の事と存じ上げます。平成 27 年 4 月 1 日付けで千葉医療センターより信州上田医療センター主任臨床検査技師に昇任致しました。初めての主任、初めての単身赴任と初めてづくしで、当施設の高橋技師長はじめスタッフの皆様には御迷惑をお掛けするばかりですが、悪戦苦闘しつつ、何とか毎日を過ごしております。一日も早く仕事にも長野県にも慣れ、共に楽しんでいければと思っています。数年前より、北アルプスを中心とした夏山の登山を楽しんでおり、今夏もどこの山を登ろうかと思案中です。この信州上田医療センターの地で主任デビューというのも何かの縁であろうかと思っておりますので、長野地区の皆様、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

信州上田医療センターに赴任して

信州上田医療センター 宮沢 宏也

平成 27 年 4 月 1 日付けで信州上田医療センターに新規採用となりました宮沢宏也です。私は生まれも育ちも上田市であり、初任地が地元であることは非常に幸運だと感じています。

私は生物学が好きで、何か生物関係の仕事に就きたいと思い、生物学系の大学へ進学しました。しかし、平成 23 年、東日本大震災があり、人や動物などの生命の尊さについて考えさせられ、命にかかわる仕事をしたいと考えるようになりました。そこで、大学を卒業してから専門学校に進学し、臨床検査技師の道を選びました。

現在は一般検査を担当しておりますが、毎日が勉強で、知識・経験不足を痛感しています。しかし、一方では非常にやりがいも感じています。早く一人前の臨床検査技師として社会に貢献できるように、今以上に責任と自覚をもって日々精進していきたいと思っております。長野地区会の皆様、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

まつもと医療センター中信松本病院に赴任して

まつもと医療センター 千賀 宏

12年前の3月、京都の施設から当時の国立松本病院へ異動になってから、長野地区会の皆様から多くのことを勉強させていただき、大変感謝しております。

9年もの長い間お世話になった信州上田医療センターから中信松本病院へ赴任して、馴染み深い方々と共に勤務させていただき安心しております。

自宅のある安曇野市からちょうど20kmの道のりを車通勤しています。上田までは50kmを超える距離でしたから、体力的にも随分と楽になりました。仕事の無い週末は、信州各地の山や高原に出かけては下手な写真を撮り続けています。その時にしか見せない自然の素顔やひっそりと咲く美しい花を見るたびに、信州に来て本当に幸運だったと感じています。

まつもと医療センターも改築を控えて大きな変革期を迎えます。定年まであと2年という年齢になってしまいましたが、その新たな歩みに少しでも貢献できればと願っております。長野地区会の皆様、改めましてよろしくお願い致します。

まつもと医療センター中信松本病院に赴任して

まつもと医療センター 野村 公達

4月1日付けで、横浜医療センターよりまつもと医療センター中信松本病院に配置換えとなりました野村公達と申します。横浜医療センターの前はまつもと医療センター松本病院勤務でしたので、2年ぶりに長野に戻ってまいりました。改めてよろしくお願いいたします。

私の趣味はスキーですが、神奈川ではスキー場が遠く行くことができず、スキーウェアやスキー靴はクローゼットを広く占領しているだけでしたが、今シーズンからは出番がありそうで今から楽しみです。が、冬の寒い朝雪掻きもしなければならぬと思うと今からゾッとします。

さて、当検査室に暖かく迎え入れていただき約一か月が経ちますが、まだ不慣れなことも多く皆様の力をお借りしながら業務に臨んでいる毎日です。早く前任者の方々のレベルまで近づけるよう積極的に行動し、知識と技術の向上を目指していきたいと思います。

これからも長野地区会の皆様とも交流の機会があるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

小諸高原病院に赴任して

国立病院機構小諸高原病院 齊藤 美穂子

4月1日付で神奈川病院より小諸高原病院臨床検査技師長として赴任いたしました。皆様お久しぶりです。4年ぶりにまた長野地区会にお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

小諸高原病院は長い山道をくねくねと上って、やっとたどり着くなど前施設の神奈川病院と自然豊かな点ではよく似ています。しかし神奈川の温暖な気候に比べ、標高1000メートルの冬の厳しさは上田生まれの私でも想像出来ないほど厳しいと聞いています。

施設は精神・重心が専門で(内科も少しありますが)病床数360です。主任と2人の業務は業務量にかかわらず、少し寂しい印象もあります。今後は当施設も超音波検査などを取り入れ、それに伴い技師が増員出来たらと大きな希望を抱いています。

施設は変わっても、検査技師として・・・「迷ったら患者さんの立場に立って物事を進めなさい」との、私が尊敬する恩師の教えを守り、微力ながら施設の発展に努めて行きたいと思います。長野地区会の皆様どうぞ宜しくお願い致します。



東長野病院に赴任して

東長野病院 瀬下 明子

4月1日付けで国立病院機構東京病院より東長野病院の副技師長として参りました。よろしくお願い致します。

東長野病院は私が検査技師として最初に就職した病院です。そして18年前まで勤務していました。20代を過ごした思い出深い病院にこの度再び勤務することとなり、ご縁があったのだと感慨深い気持ちです。

当時は8名体制の検査科でしたが、現在は非常勤1名を含む5名体制で病院も重症心身障害者医療、地域医療、子供の心医療を柱とした病院に生まれ変わっていました。

長野地区も施設の数や各施設の体制等変貌を遂げ、時代の変化を感じています。

今回の赴任で長野の自然の美しさと人の優しさ暖かさに触れ、忘れていた大切な物を教えられた気持ちです。

これからも成長し、変化し続けてより良い環境を作れますよう頑張ろうと思っていますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

東長野病院に採用されて

東長野病院 研究検査科 北澤 芽衣

4月1日より東長野病院研究検査科で非常勤臨床検査技師として勤務しております北澤芽衣と申します。今年の3月に専門学校を卒業し、初めての社会人となりました。覚えることで大変ですが、毎日が新鮮であつという間に過ぎていきます。業務中のわからないことや出来ないことは経験豊富な先輩方が丁寧に指導してくださるのでいつも感謝しています。

まだまだ知識と技術不足ですが、いろんなことに積極的に挑戦していきたいと考えています。また、患者さんにとって良い医療を提供するため自分に何が出来るかをいつも考えながら検査の現場で働いていきたいと思っています。今はまだ患者さんと接する機会は少ないですがこれからどんどん増えていくので、患者さんに「この人になら自分の検査を任せることが出来る。」と思ってもらえるように早く一人前の臨床検査技師になれるよう日々がんばっていききたいと思います。また安心して仕事を任せてもらえる技師となり、皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思いますので、これからよろしくお願い致します。

— 編集後記 —

長野地区会に入会された方々に自己紹介文を投稿していただき有り難うございました。移動なされて来た方々は、例年になく寒暖差に驚いているのはないでしょうか？会員の方々も、体調には十分気を付けましょう。

長野地区会理事会の広報を担当してきましたが、今回の総会で任期の終了を迎えることとなりました。至らないところも多々あったと思いますが、温かく見守って頂きありがとうございました。

